

会 議 報 告 書

開 催 年 月 日	平成 29 年 3 月 14 日 (火) 午後 5 時 05 分～6 時 00 分		
会 議 の 名 称	平成 28 年度 第 21 回 勤務医部会常任委員会		
開 催 場 所	大阪府医師会館 6 階 61 会議室	会 議 の 主 催 者	勤務医部会
役 員 等 出 席 者	福田理事		
出 席 者 数	24 名 (福田・幸原・中島副部長、富永・新井・家永・一番ヶ瀬・山根・木下・信田・山本・岩澤・鹿島・伊藤・草野・西尾・井上・宮越・総野・福並常任委員、杉田・橋本・濱田・藤田顧問)		
1. 開 会・挨 拶			
2. 協 議 事 項	<p>1) 平成 29 年度 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会について [福田副部長] 前回は引き続き協議。標記協議会 (5/10・水) の協議テーマの 1 つである「新たな専門医の仕組み」に関する意見、要望の提出について協議し、下記のような意見が挙がり、提出内容については副部長で検討することとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修医の研修先が大学病院：一般臨床研修病院で 7:3 から 6:4、5:5 に近い割合となって、大学の定員数が減ることにより、関連病院への派遣も難しくなっているうえ、派遣先も偏ってくることにより、結果的に偏在につながる要因となっていると考えられる。 ・一般研修病院 (大規模病院) からの地域派遣先が同じく規模の大きな病院が多く、周辺の中小病院への研修派遣への流れがあまり無いため、研修終了後の行き先についても同じく偏在的になっていることが懸念される。 ・診療科の偏在も顕著になり、現在の研修制度では本人が希望する診療科を深く研修できない。 ・救急科については 3 次救急の研修が多いが、研修医の中には ER 的な需要も高く、地域においても 1 次・2 次救急の医師を育てていく必要性を感じている。地域の需要にあった柔軟なプログラムを大学も含めて策定していくべきではないか。 ・大学からの派遣で来ていた研修医が働きたいと感じた研修病院があっても、派遣であったため継続勤務が叶わない事例があるため、特例的な雇用ポストの設置なども検討すべきではないか。 <p>2) 第 5 回 新研修医ウェルカムパーティーの開催について (進捗) [福田副部長] 資料を基に、昨日現在の参加申し込み人数について確認した。また、平成 29 年度版の入会促進資料「我ら、さきがけ」および「日本の医療を守ろう！」をウェルカムパーティーの案内チラシと共に、(基幹型) 臨床研修病院と郡市区等医師会および、大学のオリエンテーション担当者へ発送し、再度案内を呼びかけている旨、報告した。</p>		
3. 報 告 事 項	<p>1) 各ブロック委員会・研修会等報告について</p> <p>1. 平成 28 年度 第 8～11 ブロック合同懇談会 (3/2・木) [事務局・書面報告]</p> <p>2) 府医各種委員会等報告について</p> <p>1. 平成 28 年度 第 4 回 調査委員会 (2/23・木) [事務局・書面報告]</p> <p>2. 平成 28 年度 第 29 回 医療情報に関する講演会 (3/2・木) [草野常任委員]</p> <p>3. 平成 28 年度 第 8 回 広報委員会 (3/10・金) [井上常任委員]</p>		
4. そ の 他			
5. 閉 会			
	以 上		